

## 指定管理者制度導入施設令和3年度決算資料

施設名 鳴門市ドイツ館（大麻町松字東山田55番地2）	担当	文化交流推進課
----------------------------	----	---------

### 1. 指定管理の状況

#### (1) 指定管理者

【団体名】 一般社団法人 鳴門市うずしお観光協会  
 【代表者名】 理事長 勸川 一三  
 【所在地】 鳴門市撫養町南浜字東浜165番10

(2) 指定期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日（5年間）

#### (3) 指定管理の内容

- ①施設の運営に関する業務
- ②施設の保全に関する業務
- ③日独交流を中心とした文化イベントの開催に関する業務
- ④日独交流の情報の発信及び観光事業の実施に関する業務
- ⑤資料の展示等に関する業務
- ⑥その他市長が必要と認める業務

### 2. 指定管理者事業報告書概要

#### (1) 管理業務の実施状況

- ①開館日数： 年間342日
- ②管理体制： 管理責任者1人（賀川豊彦記念館管理責任者兼務）、総括管理者1人（賀川豊彦記念館総括管理者兼務）、専任職員3人、その他、土・日、祝日及びイベント日はアルバイト等で必要人数を配置し、管理運営業務を実施。
- ③業務実施状況： ①資料博物館としての事業、②観光施設としての事業、③イベント施設としての事業、④研修業務施設としての事業、⑤日本赤十字社との連携、⑥社会貢献事業、⑦施設管理業務、⑧職員教育 を実施
- ④利用サービス向上への取り組み：
  - ①1階ホワイエで、パーテーションにドイツの四季案内、イベント案内、街の特徴などを展示し、季節に合った情報提供を行った。
  - ②人数の多い団体や高齢者が多い団体に、ガイド用の携帯ワイヤレスマイクを積極的に利用して対応した。
  - ③館内に設置したWi-Fi設備で入館者特に外国人観光客の利便性に寄与した。
  - ④イベント毎にアンケート箱を設置し、利用者の意見集約に努めた。
  - ⑤四国放送やFMびざんなどのマスコミ媒体や、フェイスブックなどのSNSを活用した情報発信により、ドイツ館の広報周知に努めた。

#### (2) 利用等の状況

（単位：人）

入館者数	有 料			無料計	計
	小人	大人	計		
	1,057	10,101	11,158	1,439	12,597

#### (3) 利用料金収入の状況

（単位：円）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入館料等	166,840	120,392	151,224	341,531	428,662	401,388
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館料等	494,994	400,963	292,974	375,628	211,160	384,729
	合計					
	3,770,485					

(4) 管理に係る収支の状況

【収入の部】

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	増減額	備考
指定管理料	24,800,000	24,800,000	-	
利用料金収入	5,086,000	3,770,485	△ 1,315,515	
受取利息	-	159	159	
雑収入	100,000	100,000	-	
合 計	29,986,000	28,670,644	△ 1,315,356	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	増減額	備考
人件費	11,600,000	11,200,146	△ 399,854	
報償費	-	-	-	
運 営 費				
消耗品・備品費	1,000,000	759,637	△ 240,363	検温器、カラーコピー代等
印刷製本費	300,000	91,960	△ 208,040	封筒、チラシ等
光熱水費	3,700,000	3,051,384	△ 648,616	電気料、水道料
修繕費	500,000	137,676	△ 362,324	施設修繕等
通信運搬費	600,000	484,331	△ 115,669	電話代、Wi-Fi利用料等
手数料	80,000	75,140	△ 4,860	振込手数料等
保険料	140,000	111,570	△ 28,430	火災保険料等
委託料	7,800,000	7,087,352	△ 712,648	空調維持管理、電気保安管理等
使用料・賃借料	1,100,000	888,588	△ 211,412	コピー機リース料等
租税公課	1,400,000	1,304,000	△ 96,000	消費税
旅費	50,000	-	△ 50,000	
広告宣伝費	200,000	66,600	△ 133,400	ドイツ館PR活動
雑費	76,000	20,000	△ 56,000	負担金等
小 計	16,946,000	14,078,238	△ 2,867,762	
事業費				
活性化イベント	1,440,000	636,360	△ 803,640	
小 計	1,440,000	636,360	△ 803,640	
合 計	29,986,000	25,914,744	△ 4,071,256	

差し引き収支額 2,755,900 円

3. 令和3年度鳴門市からの指定管理者への補助金及び委託料

(1) 補助金明細

なし

(2) 委託料明細

(単位：円)

事業名	決算額	担当課
賀川豊彦記念館管理業務（指定管理料）	4,500,000	文化交流推進課
ドイツ館管理業務（指定管理料）	24,800,000	文化交流推進課

4. 管理運営状況について

開館日数	導入前	326日	開館時間	導入前	9時30分～17時
	H30	347日		H30	9時30分～17時
	R1	349日		R1	9時30分～17時
	R2	330日		R2	9時30分～17時
	R3	342日		R3	9時30分～17時
利用者 (件) 数及び 施設使用 者(件)数	H29	2階入館者数 31,640人 イベント参加者数1階 19,813人 2階 29,314人	モニタリング 評価結果	評価 (A～C)	<b>B</b>
	H30	2階入館者数 35,996人 イベント参加者数1階 32,638人 2階 28,843人		施設所管課 所見	
	R1	2階入館者数 30,838人 イベント参加者数1階 15,832人 2階 26,079人		履行確認(*1) 施設の適正な管理のほか、職員研修として毎月勉強会を行い、専門知識の習得など、人材育成に努めた。	
	R2	2階入館者数 11,467人 イベント参加者数1階 136人 2階 10,605人		サービス水準(*2) 大手旅行会社や関係機関との連携、小学校の歴史学習の場としての利用など、積極的に利用促進、知名度向上を図った。	
	R3	2階入館者数 12,597人 イベント参加者数1階 323人 2階 11,845人		安定性評価(*3) 指定管理の経理と団体の経理を区分して適切に管理している。	
利用料金及び使用料収入について	昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響を受け、ゴールデンウィーク期間の休館を余儀なくされ、団体客の来館者数が殆どなかったこともあり、入館者は前年度の約10%増に留まった。利用料金収入についても伸び悩み、前年度を下回る実績となった。				
利用サービス向上策	指定期間共通	休館日を減らすなど、利用者利便性の向上に努めた。 毎年趣向を凝らした日独交流イベントを開催し、入場者数の増加に努めた。 職員にドイツに関する知識を習得するため研修を行った。			
	H30	来場者への積極的な声かけやわかりやすく関心の持てる内容でのガイドや団体客や年配の利用者が聞き取りやすいようにワイヤレスマイクを積極的に活用した。			
	R1	館内ガイド知識習得のため定期的に展示資料についての勉強会を行ったほか、イベントごとにアンケートボックスを設置して反省点の協議等をスタッフ全員で行い、サービス向上につながる情報共有を行った。			
	R2	積極的に入館者に声掛けを行うとともにアンケート調査を行い、頂いた意見や要望のうち回答・対応できるものは、即座に対応し、来館者の満足度を向上するとともに、リピーターの増を目指した。			
	R3	新型コロナウイルス感染症対策として、修学旅行等大人数の団体が来館した際には、1階大ホールでプロジェクターを使って解説することにより、館内見学の前にドイツ館の概要を知ってもらうなど、来館人数に応じた柔軟な館内ガイドを行い、サービス向上を図った。			

\*評価(A～C)の定義

- A・・・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- B・・・協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- C・・・協定書等を遵守しているものの、内容の一部に課題がある、または改善の必要な内容である。

\*施設所管課 所見

- (\*1) 履行確認・・・協定書や仕様書等に定められた事業や業務等の履行状況の確認を行います。
- (\*2) サービス水準・・・どの程度の水準のサービスを提供しているのかについて測定・評価します。
- (\*3) 安定性評価・・・サービス提供の継続性・安定性について収支状況や事業計画と実績との比較等により確認・評価を行います。